

# 海の見える交流施設（大社エリア交流・民間商業施設）設計コンペティション 1次審査会報告

海の見える交流施設（大社エリア交流・民間商業施設）基本設計・実施設計委託業務を委託する設計者を公募型コンペ方式により選定するにあたり、海の見える交流施設（大社エリア交流・民間商業施設）設計コンペティション審査委員会（以下、「審査委員会」）による1次審査の結果および選考の全体的なプロセスと審査講評を公表します。

令和7年3月12日

隠岐の島町長 池田 高世偉  
審査委員長 布野 修司

## 1. 選定結果

番号	提案者名	提案作品名
7	(有)アトリエ・シムサ	海と社を結ぶ大庇[おおびさし]
21	SAI・HiMa 設計共同体	縁結びの杜 一ふるまう、うやまう、たどる一
26	y&M design office + Tai Furuzawa Design Office + 秋山怜央建築設計事務所共同体	「むすびば」ー歴史・自然・人々をつなぐ場所ー
62	(株)河内建築設計事務所	みんなの屋根
65	KAMIJIMA Architects 一級建築士事務所	隠岐の島をつなぐ大屋根ー海・空・人をつなぐ新たなランドマークー

## 2. 審査委員会までのプロセス

### (1) 設計提案書の公開展示

全国から提出いただいた全94の設計提案書を町民のみなさんに見ていただき、意見を審査委員会での議論に活用することを目的として、令和7年2月13日（木）～2月25日（火）にかけて全94作品を役場町民ホール前ホワイエで公開展示しました。また、出張展示として、令和7年2月10日（月）～2月21日（木）にかけて島根県立隠岐養護学校、令和7年2月19日（水）～2月21日（金）にかけて西郷港周辺まちづくり拠点施設「うみやまもっとあつまれ」において公開展示しました。意見募集の方法として、一番良いと思った提案作品を1つ、そのほかに良いと思った提案作品を2つ選び、意見用紙に提案番号と、一番良いと思った提案作品の選んだ理由を記入し、意見箱に投函してもらいました。

加えて、まちづくりの基本理念である「世代をつなぐまちづくり」の具体化として、島根県立隠岐高校商業科の2年生（計21名）、島根県立隠岐養護学校の生徒（計14名）を対象としたまちづくり授業を行いました。子どもたちがまちづくりについて学び、自分たちの視

点から提案作品に対する意見を投票してもらいました。

これらの取り組みにより、一般から 187 件、子どもから 42 件の意見を頂くことができました。

## (2) 審査委員の意見集約

審査委員会委員には、設計提案書の電子データおよび印刷したものを事前に配布し、審査を依頼しました。また、事務局では、設計提案書が実施要領および要求水準を満たしているか確認するとともに、概算見積書の算出精度および実施体制が確定し、実現可能であるかを確認しました。これらの結果をもとに作成した参考資料も設計提案書と共に審査委員に提供しました。

審査の方法は、1 次審査通過作品として、審査委員会から隠岐の島町に推薦すべき提案作品、推薦を検討すべき提案作品、その両者にも入らない提案作品に区分していただきました。

2 次審査に進めることのできる提案作品点数は、5 点でしたので、審査委員には、各自 5 点の「推薦すべき提案作品」を選び、推薦理由を記入していただきました。事務局でこれを整理し、審査委員会の資料としました。

## 3. 審査委員会の開催

審査委員が事前に「推薦すべき」とした提案作品(計 25 作品)を中心に、審査委員それぞれの専門分野の視点から、2 次審査に推薦すべき提案作品を 5 作品選ぶ方針で議論を行いました。

はじめ、審査委員全員が 25 作品の推薦案件について、推薦理由を説明しました。町民や子どもたちの推薦案件は、この 25 作品のなかにすべて含まれておりました。この 25 作品は次の通りでした。提案番号「2, 4, 7, 17, 21, 24, 26, 32, 33, 34, 42, 44, 51, 53, 56, 58, 62, 63, 65, 67, 70, 77, 85, 93, 94」

つぎに、議論を深めるために、審査委員が述べた推薦理由をもとに要求水準との整合性や各専門分野の視点から議論しました。そこで推薦作品の精査を行い、審査を継続する提案作品を 14 作品選びました。この 14 作品は次の通りでした。提案番号「7, 21, 24, 26, 32, 33, 42, 44, 53, 56, 62, 63, 65, 94」

さらに、14 作品の中から 2 次審査に進めるべき提案作品とするものについて、審査委員一人につき 3 作品を選定し、投票を行いました。この投票により 12 作品を選びました。この 12 作品は次の通りでした。提案番号「7, 21, 24, 26, 32, 42, 53, 56, 62, 63, 65, 94」

加えて、選んだ 12 作品について、特に建築的な視点から議論し、再び 2 次審査に進めるべき提案作品とするものについて、審査委員一人につき 3 作品を選定し、投票を行いました。この投票により 8 作品を選びました。この 8 作品は次の通りでした。提案番号「7, 21,

26, 32, 53, 62, 65, 94」

この結果により、提案番号「7, 21」については過半数の審査委員が2次審査に進めるべきとしたため、この段階で1次選考通過作品として推薦することを決定しました。

最後に、2次審査に進めるべき提案作品は5作品ですので、残る3作品を選定するために、2度目の投票で選定された提案番号「7, 21, 26, 32, 53, 62, 65, 94」から先ほど決定した「7, 21」以外の「26, 32, 53, 62, 65, 94」について、審査委員一人につき3作品を選定し、投票を行いました。この投票により3作品を選びました。この3作品は次の通りでした。提案番号「26, 62, 65」

事務局から提案者の実施体制について説明があり、委員会では、これも参考にしながら最終的に5作品を隠岐の島町に1次選考通過作品として推薦することを決定しました。

この5作品は次の通りでした。提案番号「7, 21, 26, 62, 65」

#### 4. 隠岐の島町の決定

隠岐の島町では、審査委員会の推薦を受けて、全5作品が2次審査に進めるべき提案作品との判断を行い、これを決定しました。

#### 5. 講評

##### (1) 各提案に対する評価の概要

1次審査を通過した各提案作品に対する審査委員会における評価の概要は以下の通りです。

##### 提案番号7番

大庇と大社分院通りの一体感や三分割された切妻屋根の工夫が特徴的で、シンプルな架構と動線計画が使いやすさと可変性をもたらし、大きな庇の下で人々が集まり、交流を促す空間が評価されました。1階の商業施設の用途に柔軟に対応できる可能性、屋根に包まれた伸びやかで安心感のある2階の内部空間、木組みの美しさ、軒高を抑えた圧迫感のないデザインも評価されました。

##### 提案番号21番

全体的に要求にしっかりと応え、明確なコンセプトを基盤にした計画が評価されました。特に西郷湾への明確な軸線計画が広がりのある視点を生み、建物と周囲の景観を効果的につなげています。また石州瓦の採用により地域性を反映しつつ、一枚屋根が分かれるデザインや、大社分院通りと大庇の連続性により生み出される親しみやすい空間も評価されました。

#### 提案番号 26 番

林立する柱で構成される空間が魅力的であり、回遊性のある動線計画も相まって、まるで森の中を歩いているような感覚を与える計画となっています。出雲大社西郷分院側を低く抑える屋根のデザインが建物全体に調和と美しさをもたらし、西郷湾や周辺環境を意識した眺望計画も評価されました。

#### 提案番号 62 番

大庇と大社分院通りが生み出す連続性や広々とした庇下空間が魅力的であり、半屋外空間の活用により多目的に利用できる柔軟性が評価されました。西郷湾や周辺環境を意識した眺望軸や、ダイナミックでありながら大社分院通り側にスケールを落とした屋根のデザインも評価されました。

#### 提案番号 65 番

イベント利用が可能な広場からのアプローチや、ファサードのおおらかさ、屋根の下に収まり安心感を得られる2階の空間計画が評価されました。屋根の重なりによるデザインや、海側からの見え方を考慮した計画が魅力的な空間を創り出している点も評価されました。

#### (2) 1次審査会の総評

この度は、本コンペティションにご参加いただき、誠にありがとうございました。全国から94件ものご提案をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。

今回の設計コンペティションは「西郷港周辺まちづくり」の一環として実施されました。応募者の皆さまには、このまちづくりの理念を深くご理解いただき、西郷湾や大社分院通りとの調和を図った設計や、柔軟性と多用途性を備えた空間構成など、多様で優れたご提案をいただきました。また、EOI業務を通じてSPIとの関わり方や設計プロセスの具体性について新たな視点や可能性を見出すことができたことも大きな成果のひとつであると感じております。

最後に、応募者の皆さまの多大なるご尽力と熱意に対し、改めて深く感謝申し上げます。

(付録) 提案作品一覧

1	心地よく、快適に、人と人の心をつなぐ	29	海とまちをつなぐ銅鑼が響く櫓をもつ交流施設「柱相撲とカンコ舟」
2	海と社を結ぶ『大屋根』の下の『エンガワピロティ』	30	ナカミセ
3	「隠岐の豊かな自然、文化、営みを紡ぐまちのLighthouse (灯台)」	31	島に架ける屋根がつくる風景
4	地域を紡ぐ島のみちしるべ	32	隠岐の島のこれまでとこれからをつなぐ交流施設
5	隠岐のゆりかご	33	神々の島 隠岐
6	NAMIMACHI(ナミマチ) -待ちあいフレンドシップ (交流船) -	34	人・町・海と呼応し未来の風景をつくる交流施設
7	海と社を結ぶ大庇[おおびさし]	35	海とまちをつなぐ開かれた交流施設
8	たまりの社	36	タイトルなし
9	みみみみ meets 五間 (軒)	37	「の」を埋める <キッカケの場>
10	海と歴史と人々を繋ぐ、ひかりの建築	38	タイトルなし
11	時代と世代を受け継いでいく隠岐の器 隠岐の島の雄大な「建築・人・大地」の延長にある交流施設	39	世代の灯台
12	海の見える交流施設 大社エリア交流・民間商業施設	40	くぐるのぼる 丘の上でつながる 新しい賑わいを生み出す『海風の杜』
13	隠岐ラッパ	41	隠岐の風とともに、だんだん深まる庭時間
14	縁の棧橋 一新たなまちづくりの船出ー	42	うみ/まち/世代をつなぐ丘と屋根
15	みんなを繋ぐ新たな場所～隠岐のパ～	43	みんなのハレと家
16	西郷港の歴史と文化を灯す「オキヤネ」	44	木をつなぐ 人をつなぐ ー海とまちを繋ぐみんなの居場所ー
17	工房があるまちづくりの拠点	45	軒下と帆下のコモンズ
18	「うみ」と「まち」をつなぐ「風まちテラス」	46	うみ・まち・つじ
19	海とまちをつなぎ、世代をつなぐ「みんなの海の家」	47	r0und and r0und いつもいつでもの隠岐の島
20	隠岐の島町の歴史と未来をつなぐ	48	隠岐の次世代につなぐコヤのつながり ～隠岐の大自然から生まれる丸太づくりの交流施設～ 集う・培う・繋ぐ
21	縁結びの杜 ーふるまう、うやまう、たどるー	49	Hub-Xis 結節点(ハブ) と軸線(アクシス)
22	海の見えるみんなの交流施設「えんのわ」 ー隠岐の島の風土と環境をつなぐー 大屋根がつくる一体感	50	うみとまちをつなぎ、人々が集まる灯籠としての交流施設
23	複合的な機能をまとめ、賑わいのある交流の場を創出します	51	海とまちをつなぎ、世代がつながる「船」
24	ここから始めるアイノマアーケード	52	切妻屋根の連なりが海とまちと人をつなぐ
25	海にひらく「大屋根」 まちにひらく「えんがわ参道」	53	西郷のモリ
26	「むすびば」ー歴史・自然・人々をつなぐ場所ー	54	海とまち、人を守り・つなぐ交流の杜
27	隠岐の居間 海とまち、まちと人をつなぐ隠岐の島のレストプレイス	55	「海とつながる参道」が海・まち・世代をつなぐ
28	島と大屋根と	56	風景の結び目 海とまち。今と未来。 それらの風景を結びつけるおおらかな場所の提案

